

2006年12月

人間歯科学研究会報

人間歯科学研究会

〒567-0883 茨木市大手町 7-26

FAX 072-626-6519

E-mail yoshihara@gold.ocn.ne.jp

歯周病進行度別の生理的反応

臨床経験が豊富になるにつれ、歯周病経験者が恐怖のあまり狭心症・高血圧・腎炎などを併発する者と、ほとんど気にならない者との差の大きさに驚く。

恐怖度は年齢や他の疾患の罹患経験にもよるが、血液型やリンパ型にもよるようだ。つまり免疫力と相関性があるといえる。

恐怖度は血液型ではA型・AB型・B型・O型の順に強い。

口臭については、軽度・中等度・重度の分類で軽度の者ほど気になると訴え、重度の者ではほとんど気にしていない。口臭検査を希望する者も軽度の者が最も多い。Refressによる検査では重度の者ほど口臭は強い。しかし本人は気にならないということなので、第三者や歯科医師が治療時に口臭を感じたら、説明指導を行い消臭剤またはマウスウォッシュを処方するのが望ましい。

また歯周病知覚過敏症も、進行度が重度化するほど症状が強く広範囲であることが多い。

人間歯科学研究会ではこれらの結果を得て、薬剤ではなく免疫学的にも効用のある電子水で研究中であるが、途中経過では高い評価を得ている。

歯周病進行度と血圧の関係

一般的に歯周病は血圧を高め腎臓を悪くし、不整脈・狭心症や頭痛そして心筋梗塞や脳梗塞のひきがねになるという。

会員の先生方から頂いた臨床データについて、覚道幸男先生の助言を得て歯周病の進行度別に分類し、血圧・脈圧・血中酸素濃度を分析したところ、熟練者が平穴植毛歯ブラシ(Dr. Angel シリーズ)を用いて歯周病患者を水平位でブラッシングした時に驚くべき反応を示していることがわかった。

100g～150g圧で唇・頬側歯冠および歯頸歯肉部を軽く口を閉じた状態で横みがきを行った時、2.5分インターバルで3回目(計7.5分)には歯周病進行度に関係なく(ブラッシング前は、軽度・中等度・重度の順に平均血圧は

高い値を示しているが) 血圧が下がる。また、脈圧が小さくなることからストレスが解消されていると判断された。つまり歯周病や高血圧はストレスによるものが大きいと思われ、ブラッシングによってリラックス効果が得られることも脳波測定によって示唆された。

ただし気持ちよくなり、全身がリラックス状態になると重症者ほど血中酸素濃度が 95%以下になることが多く、睡眠中にいびきをかいり無呼吸症候群だったりすると、脈がとんだり血中酸素濃度が低くなりすぎて危険度が高まることがある。腹式で深呼吸をすれば正常値にもどるが、高齢では腹式呼吸ができない者もいるため、時には酸素吸入が必要となることもある。

患者水平位でブラッシングした時に眠ってしまった者には15分以上眠らせてから、洗口で身を起こす時にゆっくりと行よう心がけたい。

これらの経験は、心筋梗塞や脳梗塞の患者を見分けるのにも役立つ。

平穴植毛歯ブラシ (Dr. Angel シリーズ) 発表以来、歯科治療 (特に外科処置前のブラッシング) で数名の者が内科への依頼で助かり、1名はペースメーカーで一命を取りとめ、歯周病外科処置が可能になった。

未来の歯科医療では、全身疾患発見の窓口になる可能性がある。また手術後のリハビリテーションの1つに、Dr. Angel シリーズ歯ブラシによるブラッシングが一役買うことになる可能性も高まってきた。

2006年の漢字「命」(清水寺)

「いじめ」「虐待」「非点検交通事故」「鳥インフルエンザ」「ノロウイルス」など命を脅かす因子は数多い。対抗するために免疫力を高め、健康な生活をする事の重要性を強く感じた2006年も終わろうとしている。

吉原正彦 記

～ News ～

Dr. Angel シリーズ歯ブラシのグリップ (柄) は、品質の良い植物性樹脂のため感触が良く、使用後焼却しても有害なガスが発生せず、埋め立てられても数年後には土にかえります。地球環境に優しいからこそ口腔内では安全で安心して使用できる歯ブラシとして推薦されています。

Dr. Angel シリーズ歯ブラシの「キューピット」は、患者治療前のう蝕部の歯垢清掃に実力を発揮します。